



全員野球で栄冠を勝ち取れ！ 御前崎中学校野球部



PROFILE

御前崎中学校野球部は、1年生4人、2年生13人と少人数のチーム。左投手の山本麻南斗くん・右投手の山崎拓未くんとバッテリーを組む捕手の増田龍太郎くんを中心に、守りの野球が持ち味。全国の強豪校を相手に、初戦突破を目指す！

38年ぶりの全国切符

平成27年10月、御前崎中学校野球部は西部地区中学校野球大会で見事優勝し、平成28年3月に静岡市で開催される全国大会への切符を勝ち取った。御前崎中学校野球部として、38年ぶりの快挙だ。

夏の大会で3年生が引退後、新体制となった野球部は「点を取れない野球」を目指し練習に励んだ。8月、長野県高森町で開催された島岡吉郎旗少年野球大会で優勝。続く9月の小笠中体連新人総合体育大会でも、チャンスを確実にものにして勝利を重ね、優勝を果たした。

積み重ねた努力を力に

原口衛監督は「子どもたちには常に、今やっていることが何のためなのか考えながら練習するように教えている」という。部員たちも「短時間でも集中して練習している」「試合で自分の役割が果たせるように、いつも周りの状況に気を配っている」などと、それぞれが強い意志を持って練習に取り組む。日没が早い12月は、部活動ができる時間が限

られているが、グラウンドには大きな声が響き渡り、部員たちは気合十分に練習に打ち込んでいた。

キャプテンを務める原崎秀斗くんは「全国大会では、自分の仕事をしっかりとやり遂げ、チームに貢献したい」と力強く話してくれた。

感謝の思いをプレーにのせて

御前崎中学校野球部は、地域に支えられている野球部でもある。練習試合や遠征があると、保護者だけでなく、祖父や祖母たちも応援に駆け付けて、チームの躍進を後押ししている。父母会長の小野田智博さんは「送り迎えやソックス練習など、できることをサポートしています。子どもたちには全国大会を楽しんでほしい」とエールを送った。

部員たちは「たくさんの応援に感謝の気持ちを持ちながら、全力で試合に臨んでいる。初戦が大切なので、全国では接戦でも勝てるように頑張りたい」と熱い思いを語った。

「感動あるプレーで応援に応えよう」を合言葉に、日々努力を重ねる部員たち。大舞台での活躍に期待したい。